

平成 30 年度 全国学力・学習状況調査結果の概要

京丹波町教育委員会

平成 30 年 4 月 17 日（火）に、小学校 6 年生と中学校 3 年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査における本町の結果の概要についてお知らせします。

【平成 30 年度全国学力・学習状況調査の概要】

1 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の視点から、全国的な児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、改善を図る。
- 学校における児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査実施日及び調査の対象

平成 30 年 4 月 17 日（火） 小学校第 6 学年児童（5 校：92 名）
中学校第 3 学年生徒（3 校：106 名）

3 調査内容

（1）教科に関する調査

小学校：国語 A（12 問） 国語 B（8 問） 算数 A（14 問） 算数 B（10 問） 理科（16 問）

中学校：国語 A（32 問） 国語 B（9 問） 数学 A（36 問） 数学 B（14 問） 理科（27 問）

A：身に付けておかなければ後の学年等の学習に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等(主として「知識」に関する問題)を中心とした出題

B：知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な問題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等(主として「活用」に関する問題)を中心とした出題

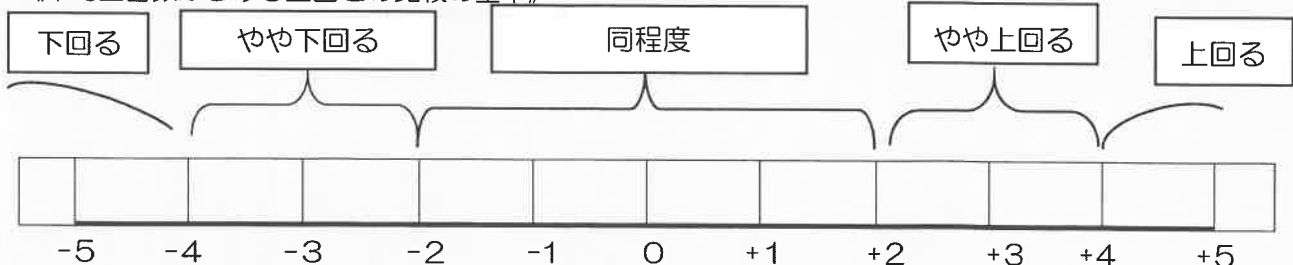
（2）児童・生徒質問紙

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

*調査結果については、教科や出題範囲が限られており、「全国学力・学習状況調査」で測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面です。

1 教科に関する調査結果の概要

《平均正答数からみる全国との比較の基準》



	国語 A	国語 B	算数・数学 A	算数・数学 B	理 科
小学校	同程度	同程度	やや下回る	やや下回る	やや下回る
中学校	同程度	同程度	同程度	やや下回る	同程度

【小学校】

- 小学校の国語A・国語Bは、全国平均並み、算数A・算数B・理科については、やや下回る結果でした。
- 国語では、目的に応じて文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読むことにやや課題が見られました。
- 算数では、除法で表すことができる2つの数量の関係を理解しているかどうかを見る問題や、合同な三角形で敷き詰められた模様の中に条件に合う図形を見出すことができるかどうかを見る問題にやや課題が見られました。
- 理科では、食塩を水に溶かしたときの全体の重さを選ぶ問題に課題が見られました。
- 無回答率は、ほとんどの問題で全国平均に比べて低くなっており、児童が意欲的に問題に取り組んだことが伺えました。

【中学校】

- 中学校の国語A・国語B・数学A・理科については、ほぼ全国平均並みでしたが、数学Bについては、やや下回る結果でした。
- 国語では、語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う問題や、伝えたい事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように書くことができるかどうかを見る問題にやや課題が見られました。
- 数学では、見取り図・投影図から空間図形を読み取る問題は、全国平均を上回っていますが、絶対値の意味理解や折り目の線の作図と角の二等分線の関係を問う問題に課題が見られました。
- 理科では、日本の天気の特徴に関する知識と観測方法や記録の仕方に関する知識・技能、条件制御の知識・技能を活用することができるかどうかを見る問題においてやや課題が見られました。
- 無回答率は、ほとんどの問題で全国平均に比べて低くなっており、生徒が意欲的に問題に取り組んだことが伺えました。

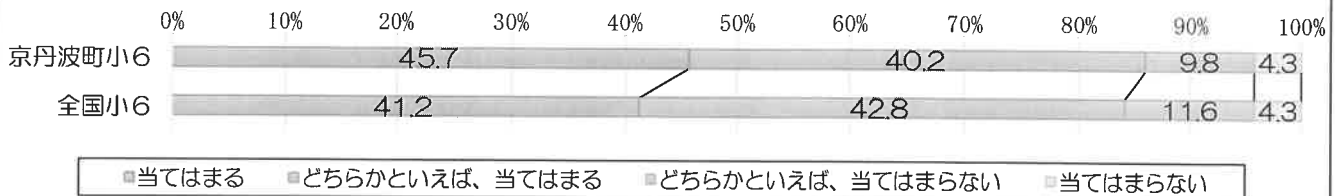
2 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果の概要

小学6年生を対象にした62項目の児童質問紙結果のうち、「強み」として更に伸ばしていきたい項目5つ、今後、改善が必要な項目5つに絞って掲載しています。

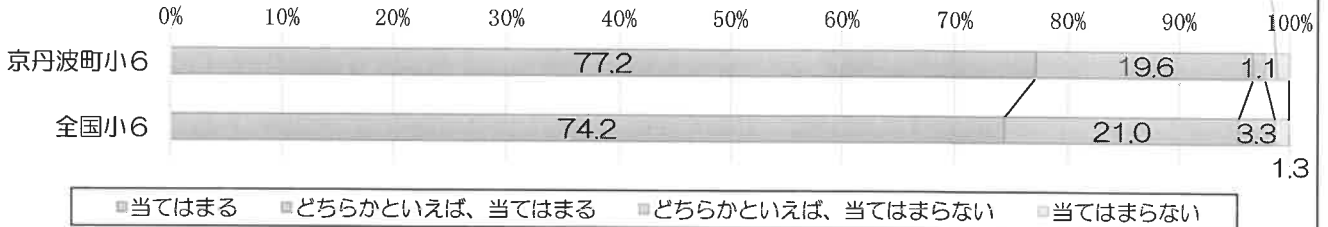
■(1) 小学校 児童に対する調査

① 「強み」として更に伸ばしていきたい5つの項目

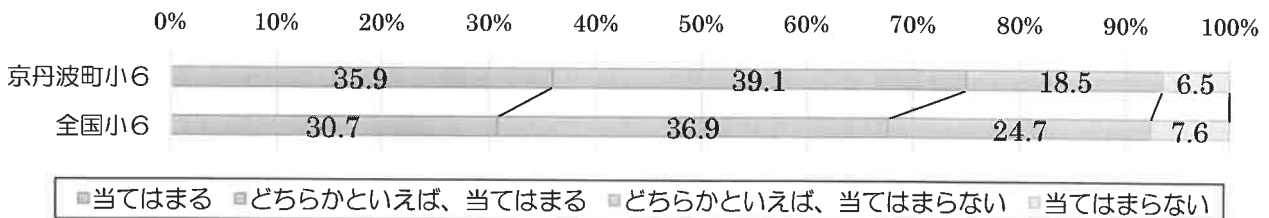
自分にはよいところがあると思いますか



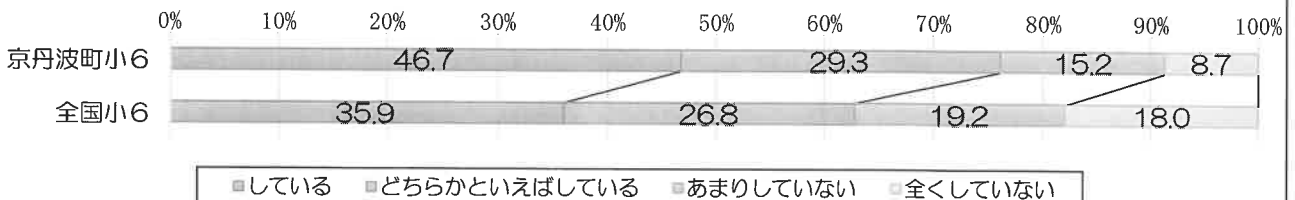
人の役に立つ人間になりたいと思いますか



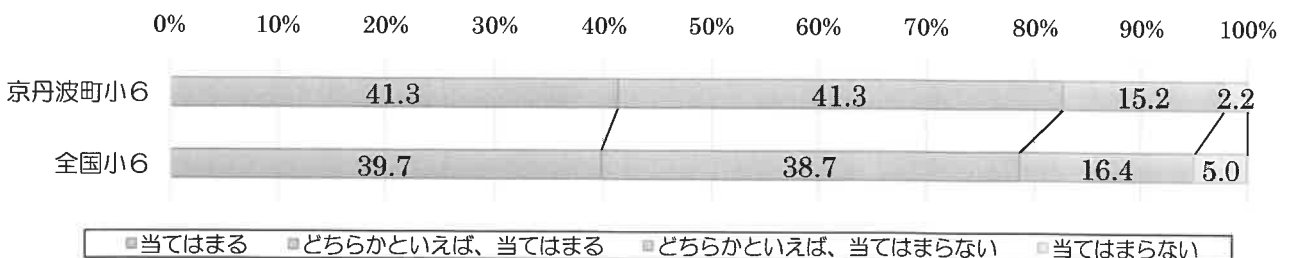
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか



今住んでいる地域の行事に参加していますか

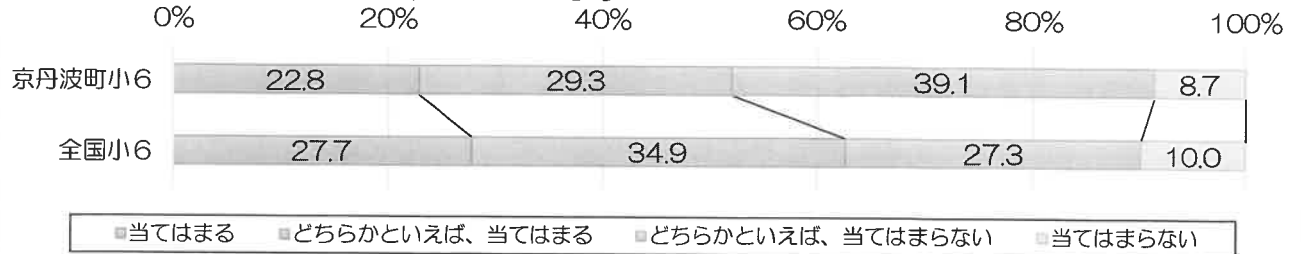


算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか

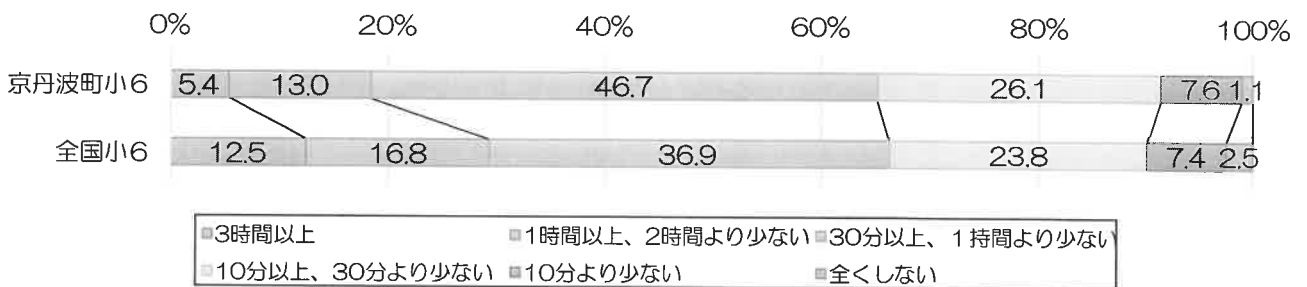


②今後、改善が必要な5つの項目

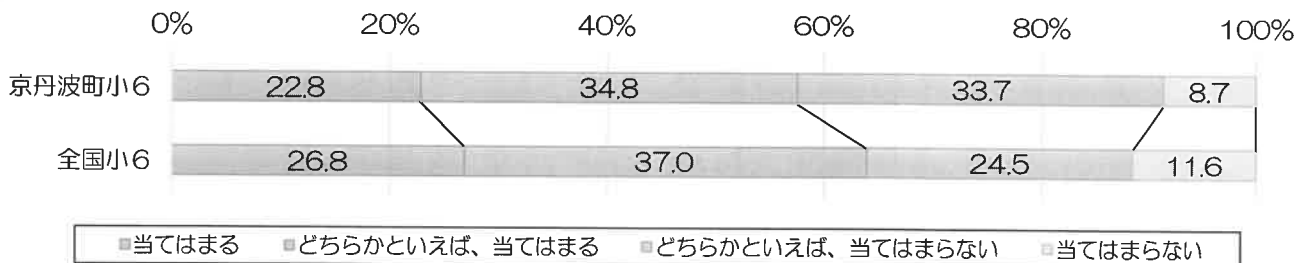
家で、学校の授業の予習・復習をしていますか



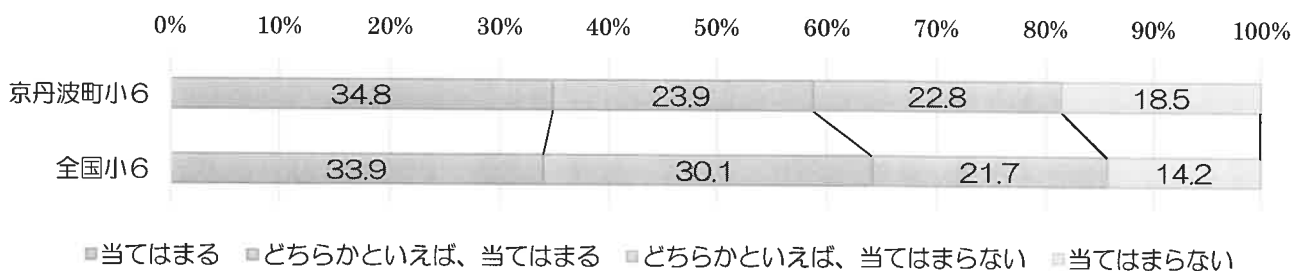
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)。一日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)



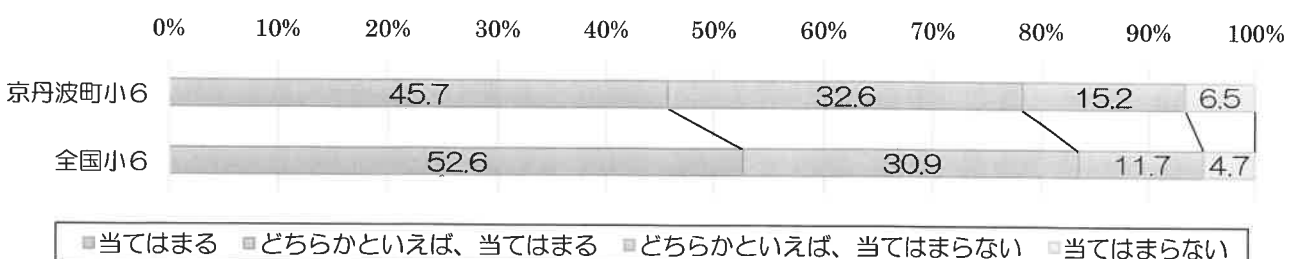
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか



算数の勉強は好きですか



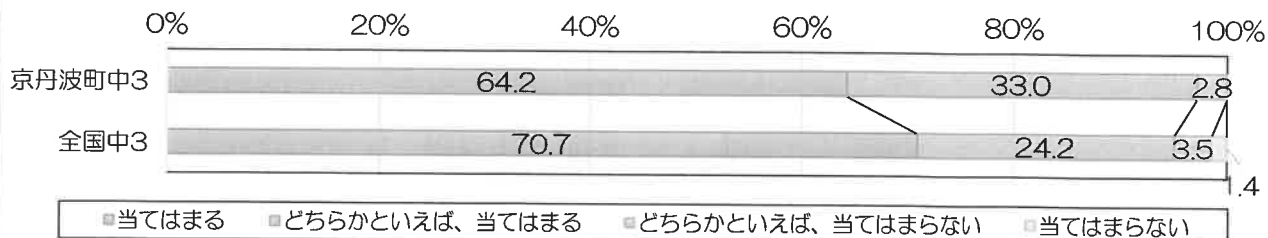
理科の勉強は好きですか



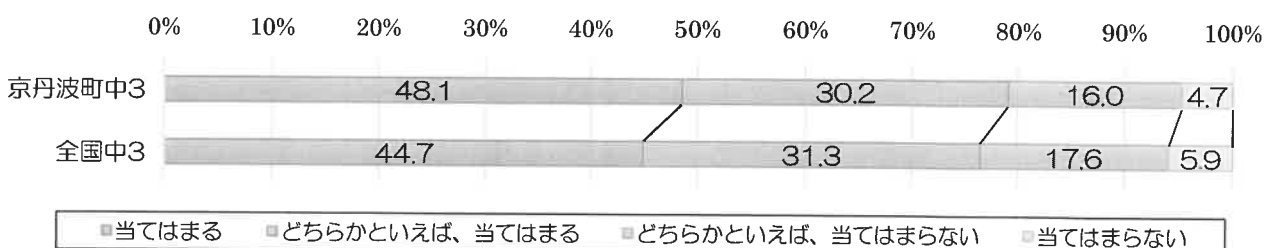
■(2) 中学校 生徒に対する調査

①「強み」として更に伸ばしていきたい5つの項目

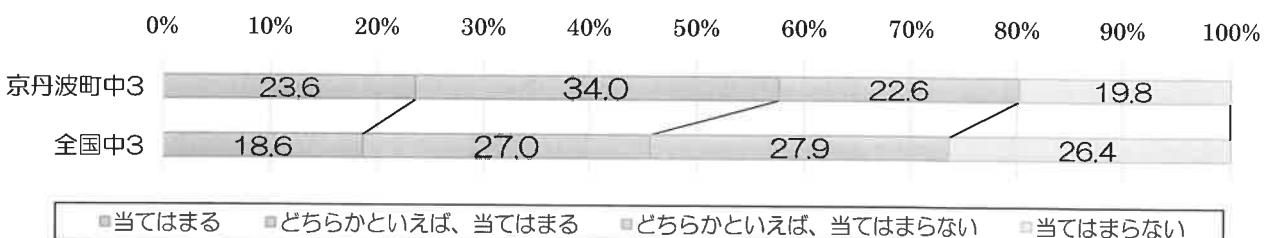
人の役に立つ人間になりたいと思いますか



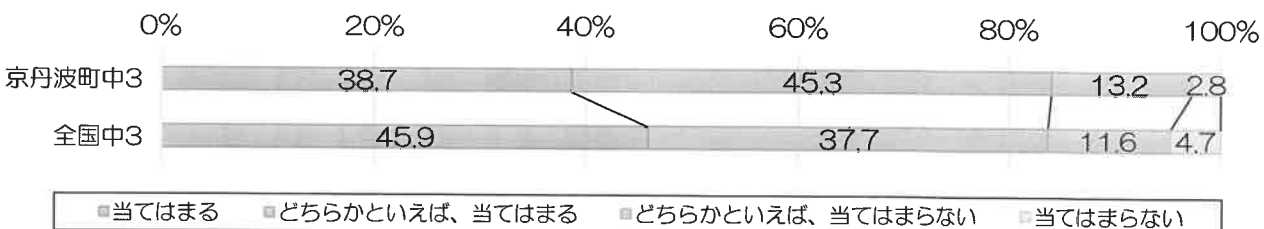
家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか



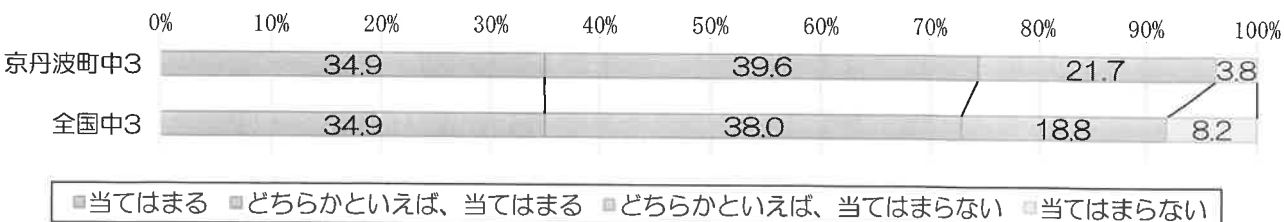
今住んでいる地域の行事参加していますか



数学の勉強は大切だと思いますか

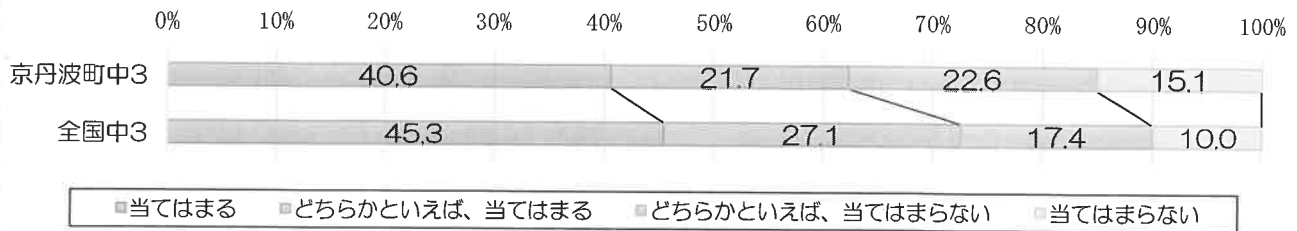


数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

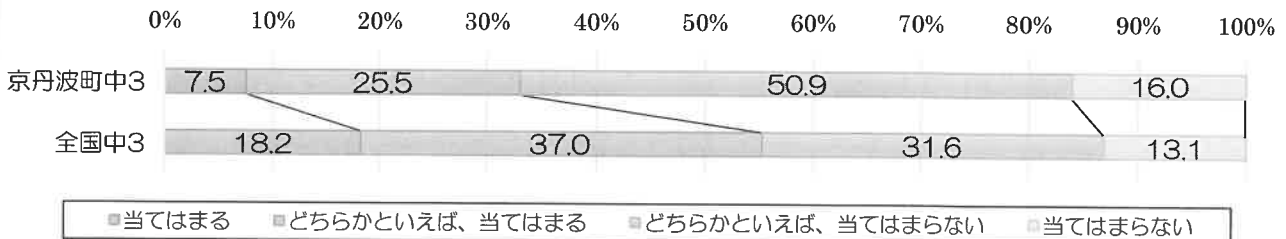


②今後、改善が必要な5つの項目

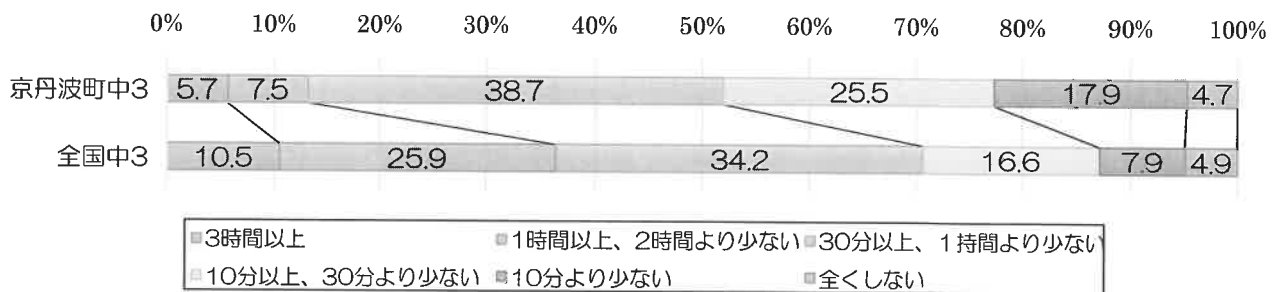
将来の夢や目標を持っていますか



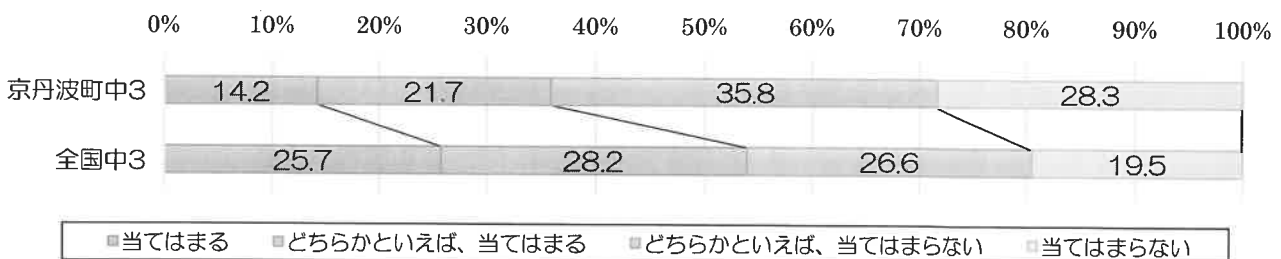
家で、学校の授業の予習・復習をしていますか



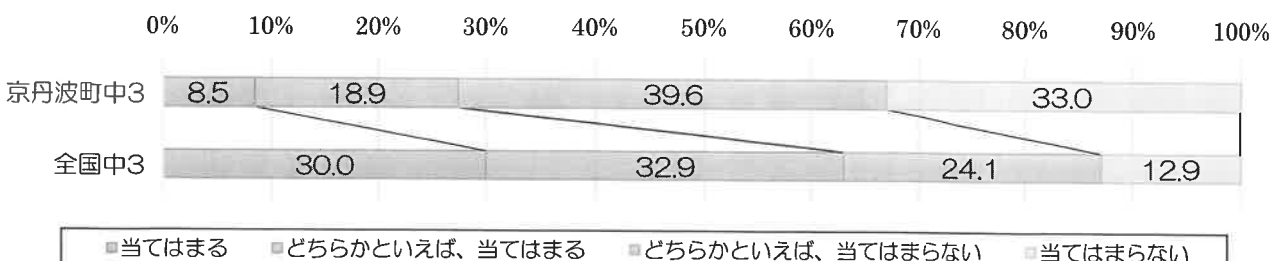
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、一日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）



数学の勉強は好きですか



理科の勉強は好きですか



◎今後も大切にしていきたい「強み」と改善が必要な「課題」

□小・中学校の調査ともに、「人の役に立つ人間になりたい」と思っている児童生徒の割合が全国に比べて高い。また、小・中学校ともに、例年「住んでいる地域の行事に参加している」児童生徒の割合が全国よりも高い結果が出ている。

□「自分にはよいところがある」と思っている児童の割合が全国と比較して高い。

□「家の人と学校での出来事について話をする」生徒の割合が全国と比較して高い。

■小・中学校ともに、「家で、学校の授業の予習・復習をしている」児童生徒の割合が全国と比較して低い。また、「学校の授業以外に家庭で学習する時間」が小中学校ともに少ない。

■「算数・数学の勉強が好き」「理科の勉強が好き」と回答している児童生徒の割合が全国と比較して低い。

3 改善方針等

◎児童生徒を学びの主体者にし、1時間の確かな学びを積み上げ、学力の向上を目指す「学びを育む京丹波町メソッド」の理念の徹底と定着を図り、児童生徒の課題に対応した授業改善を図る。

- ・主体的・対話的で深い学びの視点で授業改善を進める。
- ・学びを育む温かい学びの集団の育成をする。
- ・付けたい力を明確にし、「めあて」から「振り返り」まで一貫した指導をすることにより、毎時間の確かな学びを積み上げる。
- ・児童生徒を学びの主体者にするために、言語活動の充実を図る。

◎児童生徒が学ぶことに興味や関心をもち、毎時間、見通しをもって粘り強く取り組むために、一人一人の学びを適切に評価し、個に応じた指導の工夫をする。

◎家庭学習の充実を図る。

- ・授業とつなぐ家庭学習の在り方を工夫する。
- ・学習習慣の定着に向け、学校と家庭との連携を図る。

◎全校体制で学力向上に取り組むシステムを構築する。

- ・研究授業を中心に校内研究会の充実を図り、教師の授業力を向上させる。
- ・「学びを育む京丹波町メソッド」推進プロジェクトチームとの連携を図り、校内研究会の活性化を図る。

◎幼稚園・小学校・中学校の連携を密にし、学びの連続性を図る。

- ・小中一貫した学びのスタイルを確立して指導方法をつなぐことにより、小中の学びを円滑に接続する。
- ・中学校ごとのブロックで合同研修会を開催し、「学びを育む京丹波町メソッド」の徹底を図る。